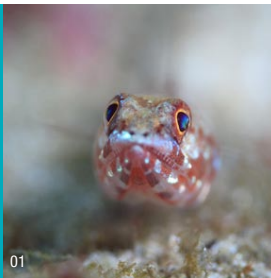


今



01

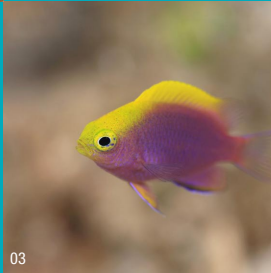
LET'S
GO TO
RAMBON
RIGHT AWAY!

こ

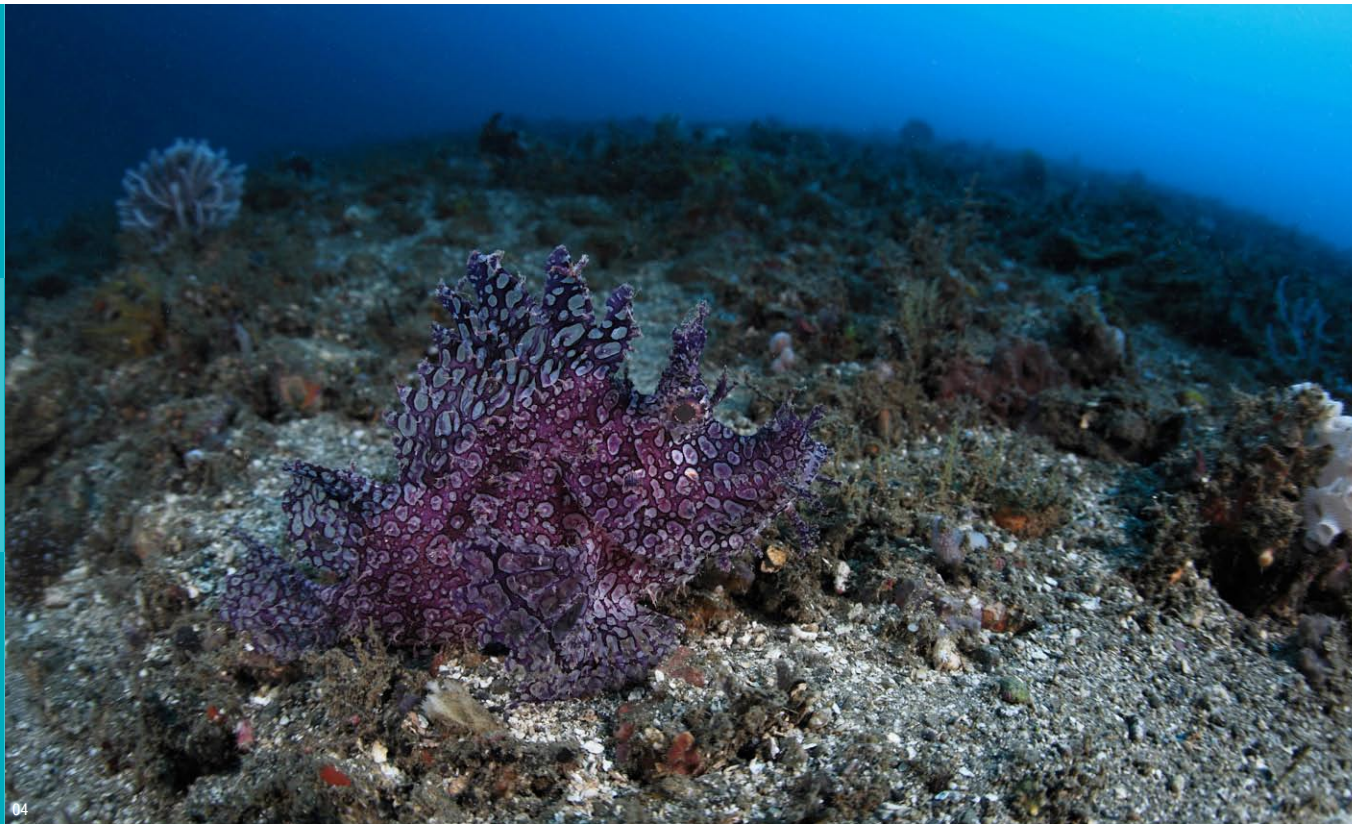


02

そ



03



04

ア
ン
ボ
ン



06



05

珍しい生き物が好きなマクロ派ダイバーやマック派ダイバーなら、今、インドネシアのアンボン島はアツイ！この島には、ダイバー向けの新しいリゾートがありダイバーを飽きさせない珍しい生き物が多く生息している。何よりも、まだ世界中に知られてないので、ダイバーが少なく、被写体を独り占め出来るサイコーのデスティネーションだ。



Photo : Tony Wu
Text : Tony Wu
Emiko Miyazaki
Special thanks :
World Tour Planners
Maluku Divers
Design : Sana☆

01/エソの仲間 (Synodus sp.) 02/ウミウシ (Chromodoris, sp.)
03/3cm 程のスズメダイの仲間 (Chrysiptera sp.) 04/30cm 大のムラサキゴロカサゴ (Rhynopias aphanes)
05/フリンデエビ (Hymenocera elegans) & ヒトデ 06/4cm 程のウミウシ

LET'S GO TO RAMBON RIGHT AWAY!
Web-lue 2009. Autumn

Information Link
<http://www.wtp.co.jp>

click! 関連情報HPへ



9cm大の交接中のウミウシ (*Hypselodoris bullocki*)



01/興味津々のモンハナシャコ (*Odontodactylus scyllarus*)

02/珍しいウミウシ (*Flabellina bilas*)

03/ミナマイイジマフクロウこと共存するコールマンシュリンプ (*Periclimenes colemani*)

04/色鮮やかな2cm程の可愛いウミウシ (*Thorunna sp.*)

僕は、「海の中にいる時が一番幸せを感じる」と言ったら語弊があるかもしれないが、海が大好きだ。遠い南半球のトンガまで足を延ばして、自分より遥かにでかいザトウクジラと泳いだり、一方、パプアニューギニアでは、誰も足を踏み入れてない珊瑚礁や新種の魚や他の生き物を探し求め潜っている。海外に限らず、国内の海も非常に興味深い。日本人ダイバーの多くが「そんなの普通に見てるよ」と言われている伊豆の海のアオリイカの交尾や産卵シーンを見たり、トラウツボを観察をしたり、ワクワクする程楽しい。

僕にとって、どこに行こうか、何を探すかは最重要ではなく、海の中に自分の身を任せている瞬間が好きだ。

とは言っても、広い海の中で生きている小さな住居人たち(住居魚というべきかな)、例えば、いつも視界からひっそり隠

れているマクロの代表、ウミウシ、エビ、コブシメや他の生き物たちを見つけ、それぞれの行動を見ているうちに、その面白い瞬間を写真に納めようと、自然にマクロにはまってる自分がいた。

実際に僕は、小さな生き物が数多く生息するインドネシアのメナド、レンベやデラワンで、試行錯誤を重ねながら写真の撮り方を習得した。運良く、これらの場所が世間に知れ渡る前に、何度もインドネシアを訪れた。近年、殆どの日本人や世界中のダイバーは、インドネシアにあるこれらの有名なダイブスポットを耳にした事があるだろうし、訪れたダイバーも多いだろう。

もちろん、今も潜りには行っているが開拓された場所を潜るより、人がまだ踏み入れてない未知の海域や手つかずの珊瑚礁を探検したいし、隠れた宝物(生き物)を探したいと考えている。

これは、口で言う程容易な事ではないし、がっかりした場所も過去にあった。

そして、マクロ派向けの「特別な場所」を発見した。近い将来、ここも人気ダイブスポットになるだろう。

その地とは、インドネシアのアンボン島。

今

がチャンスの特
別な場所

LET'S GO TO AMBON RIGHT AWAY!
Web-lue 2009. Autumn

今こそアンボン



Information Link
<http://www.wip.co.jp>

click! 関連情報HPへ



自分のテリトリーを走り回り、やっと落ち着いてあくびをした瞬間（4cm程の大きさ）

こ

んな
表情や



01/浅瀬に住む20cm程の大きさのカエルウオはあちこちいる
02/近づいても逃げない、とてもキュートな顔立ち（4cmぐらい）

01



02

LET'S GO TO **JAMBON** RIGHT AWAY!
Web-lue 2009. Autumn

今こそアンボン



Information Link
<http://www.wip.co.jp>

click! 関連情報HPへ



アンボンはカサゴの種類が多く、それぞれ違った性格があるようだ。カラフルな珊瑚の上に大人しくじーとしていた

そ

んな
表情も！

短気なのか怒ってムツしているとこんな顔になる。あまりにも大きくて（30cm強）、始めは岩の1つだと勘違いしてしまっただけ

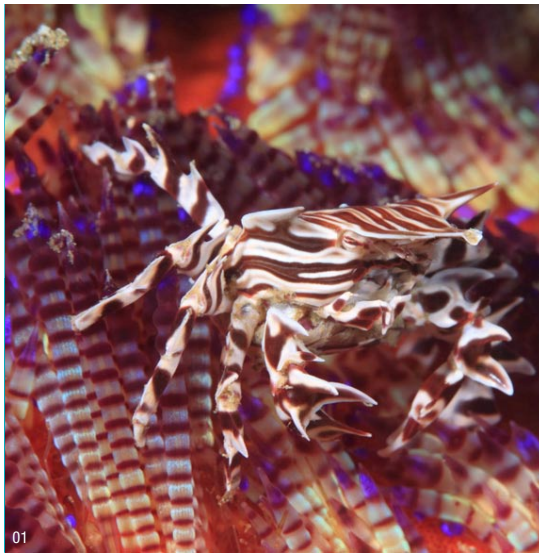
LET'S GO TO AMBON RIGHT AWAY!
Web-lue 2009. Autumn

今こそアンボン



Information Link
<http://www.wip.co.jp>

click! 関連情報HPへ



01

僕と同じマックダイビングのファンだったら、絶対にアンボンにハマるだろう。港の中には幾つかのマックポイントがある。

一般に、楽な浅瀬でのダイビングで、フロッグフィッシュ、ウミウシ、ポロカサゴ、フリソデエビ、ハナイカや珍しい生き物がここでは勢揃いしている。

1 (ワン) ダイブで見たものは、5匹の色違いのポロカサゴ (1匹白色、2匹黄色、2匹紫色)

と、実はまだまだいたけど欲張らなかつた。

カメラやビデオを持ってるダイバーにとって、泳ぎ回らずに狭い範囲の中で濃いマリンライフが撮れる。潜る度に数分で面白いものを探せるので、

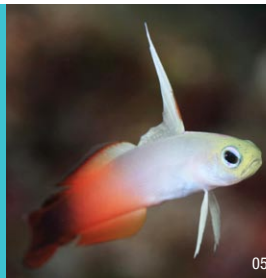
一個体に十分な時間をかけて満足した写真を撮るのもよし、あるいは、違った生き物を次から次へとはしご観察したりと自分のスタイルに合わせてダイビングが楽しめる。

僕の基本ダイビングスタイルは、1ダイブ1個体の集中派。コブシメが捕食する瞬間、ウツボ同士が自分の縄張りをめぐって戦っているシーンなど、その時の出会い運も多少関係するが、ちょっとだけ忍耐力を持てば決して難しくなく見られる。

- 01/ ミナミイジマフクロウニと共存するゼブラガニ (*Zebrida adamsii*)
- 02/ ひときわ目立ったウミウシは7cm程の大きさ (*Ceratosoma sinuatum*)
- 03/ 15cm程のオレンジ色のフロッグフィッシュ (*Antennarius pictus*)
- 04/ アイシャドーしてるかのような鮮やかカラーのハゼはともおちビちゃん



03



05

- 05/ ハタタテハゼ (*Nemateleotris magnifica*)
- 06/ ポロカサゴ狙いだったらアンボン。目を凝らせば、あちこちにいるよ
- 07/ どのカエルウオの表情も愛嬌があって楽しめる (*Ecsenius opsifrontalis*)
- 08/ またかよ、ポロカサゴ。いったいこの島には何匹いるのだろう

アンボンのマックダイビングの魅力は、湾内の地形の組み合わせ、潮の流れや豊富な栄養分から成り立っていると見えよう。

主なポイントは、アンボン港の北部に集中していて、ゆるやかな粗石の斜面で水深は約20メートル。潮が変わると、栄養分を豊富に含んだ深海の冷たい水が港に入り込み海の中だけでなく、豊かな熱帯林をも作りだしている。

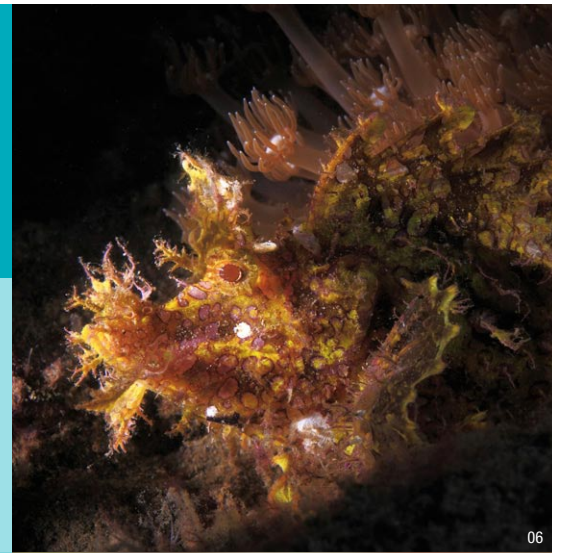
また、近くに住む村人や漁師は、残った食べ物を海に投げ捨てている。その結果、小さな生き物が食べ物に集り、その生き物を狙って大きな生き物が集る。自然に魚の多い環境が作られている。

アンボン港の南部は、全く別な面を持っている。北部の沿岸に住む村の数に比べ、南部は村も漁師も少ない。海の地形は、粗石の斜面と違いドロップオフになっている。湾の入り口に進むに連れだんだんと平坦な珊瑚礁が広がる。

南北、共通して言えることはどちらも生き物が濃い。南部の湾は、ウミウシや珊瑚礁に見え隠れする可愛いカエルウオの多さに驚かされる。



04



06



07



08

アンボンの魅力

LET'S GO TO AMBON RIGHT AWAY!

Web-lue 2009. Autumn





2009年10月オープンの新リゾートが、ダイブサイト真上に出来た。
ホテルは、ビーチフロントにあり、全室10部屋の落ち着いた雰囲気になっており、プライベートな時間をゆったりと過ごせる

SPECIAL TOPIC Maluku Frogfish

マクロやマックダイビングをするなら、このアンボン港は、世界中でトップランキングに位置すると思う。僕にとってマクロ撮影には欠かせない好きな場所である。

しかし、つい最近まで、アンボンのダイビングには不都合な点があった。それは、ポイントまでのアクセスに時間がかかったこと。マルクダイバーズ運営の宿泊施設は、南部の湾から離れた場所にあった。マックポイントまで行くにはボートで約30分、悪天候だとそれ以上の時間がかかってしまう。移動だけで時間を取られる為に、マックポイントでのナイトダイブは無理だった。夜こそ生き物が活発に動き始める時間帯で、捕食シーンや交尾や出産シーンを目にする事が出来ないのが残念だった。

しかし、Good News！マルクダイバーズが新しいリゾートを、2009年10月にオープン。それも、絶好マックポイントの真上にだ。つまり、ダイバーはギアアップしたと同時にすぐに潜りに行かれ一日中過ごせるし、尚かつ、知られざる夜の海中の世界も堪能出来る様になる。

新しいリゾートは、ゆったりした部屋が10部屋あり、僕の好きなレンベにあるカサワリ・レンベ・リゾートを建てた建築士がデザイナーを担当した。

広い施設やダイブサイトの近さの他に、ここには、自家発電機が装備されている。これは、非常に助かる。時折、島全体が停電になると、バッテリーのチャージやコンピューターで仕事が出来なくなり、熱いシャワーも浴びれなくなってしまう。もう、そんな心配はしなくてすみそうだ。

つまり、アンボンの計画を立てるにはとてもいい時期が到来した訳だ。

新しく 変貌する アンボ



アンボン港は、魚の宝庫。それも、見た事ない奇妙な生き物からレアものまで盛り沢山。

最近、このエリアでフログフィッシュの新種が発見された。この魚の学名は *Histiophryne psychedelica* と名付けられた。今のところ、マルクダイバーの新しいリゾート前のダイブサイトでしか確認されていない。

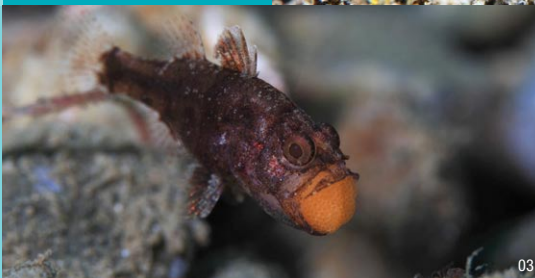
一風変わった模様をしたこの魚を実際に見た人は、恐らく数える程だろう。

もし、アンボンを訪れる機会があれば、この変わったフログフィッシュを運良く見つけられるかもしれない。この新種のフログフィッシュに関する詳細は、前記事に掲載しているので、Check it out!

http://www.web-lue.com/magazine/categorise/indonesia/post_32.html



01/自分より遙かにでかいウツボの口に入ってたクリーニングシュリンプ
02/産卵前のエビ



03/重そうに口を開けて僕に助けを求めてたイシモチの仲間
04/ガヤを捕食しているウミウシ (*Thecacera picta*)



SIDEBAR 1

アンボンの詳細

アンボンは、バンダ海にあるインドネシア・マルク州に位置する51キロメートルの長い島。亜熱帯気候で平均気温が27度。亜熱帯雨林で覆われている。

住人は、マレー系とパプア系、クリスチャンとイスラム教が半々。彼らは、とても親切で海外からのビジターを快く受け入れてくれる。ダイビングをしない日は、ローカルの市場や漁師村を歩くのも面白いかもしれない。

ダイビングシーズンは、9月後半から5月前半の乾期が良い。



LET'S GO TO AMBON RIGHT AWAY!

Web-lue 2009. Autumn

今こそアンボン



Information Link
<http://www.wip.co.jp>

click! 関連情報HPへ



01/ 捕食してる瞬間
02/ 捕食に成功。エビを食べてる瞬間

01



ここは、12メートル前後で何十匹と出会った。大きさは、4cm ~ 20cmと様々

ライトをうまく当てると、コブシメがキレイに光る



02

SIDEBAR 2 水中観察

アンボンでのダイビングの利点は、魚の濃さや種類の豊富さ、まだ世界中のダイバーに知られていないので、ゆっくり時間をかけて好きな生き物の観察が可能である。僕が潜った時、小さなコブシメと長い時間一緒に過ごし、撮影に協力してもらった。

通常、コブシメは撮影するのに苦勞する被写体の1つである。特に、大勢ダイバーが周りにいる場合はすぐに逃げてしまう。しかし、アンボンのコブシメはちょっと違う。あまり逃げないし、近くには他のコブシメもいる。1ダイプで30匹以上に出会えるのもここでは珍しくない。

1個体に集中すると、行動パターンが読めて来るので、様々な角度からの撮影が可能になる。また、少人数で潜ったり、リゾートが周りに点在してない分、水中で邪魔される事なくリラックスしながら撮影に集中出来るのがいい。

マクロ好きダイバーに……次のデスティネーションはアンボンに決まりっ!

INFORMATION

Diving Service & Resort
Maluku Divers
<http://www.divingmaluku.com>

Tony Wu
<http://www.tony-wu.com>
<http://www.tonywublog.com>



次のデス
ティネー
ションは
アンボ



LET'S GO TO AMBON RIGHT AWAY!
Web-lue 2009. Autumn

今こそアンボン



Information Link
<http://www.wip.co.jp>

click! 関連情報HPへ